

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
244133099	専門実践実習(食育・食環境) Professional Practice Training in Food Education and Food Environment	舟橋由美・小関直美・小林沙綾・竹村ひとみ・西彰子			1	選択必修	3通期
科目の概要							
この科目では、DP3・4に記載されている管理栄養士に不可欠な専門知識・技能を身に付け、人々の日常生活を健康の面から支援することができる管理栄養士を目指す。そのため、食育・食環境を整えるという観点から地域の食や栄養的な課題と向き合い、実践的な活動を通して管理栄養士の業務遂行上必要な栄養管理プロセスを学修する。その過程で、DP1・2・5・6に記載されている建学の精神、社会人基礎力、pisa型学力等を発揮・活用して、自己の能力を社会の課題解決に貢献できるようにする。							
学修内容				到達目標			
① 児童の食や栄養に関する課題を把握する。 ② 児童の食や栄養に関する課題解決に向けて、計画を立てる。 ③ 児童の食や栄養に関する課題解決計画に基づき、実践する。 ④ 実践内容と実践の評価結果をまとめる。 ⑤ 社会人基礎力の伸長を意識して活動する。				① 児童の食や栄養に関する課題を把握し、課題解決に向けた取り組みのテーマを決めることができる。 ② 児童の食や栄養に関する課題解決のために、実効性の高い計画を立てることができる。 ③ これまでに獲得した知識や技能を活用し、グループ内で協働して課題解決に向けて実践できる。 ④ 課題が解決できているかを評価し、実践内容や評価結果を発表できる。 ⑤ 今後の自己成長につなげられるよう、社会人基礎力の伸長を意識して活動することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	目標を達成するために、必要なことを自発的に探し出して積極的に取り組むことができる。					
	働きかけ力	目標を達成するために、同じ意見の人だけでなく、意見や考えの合わない人の意見も取り入れてグループとしての意見を集約することができる。					
	実行力	目標を達成しようという強い意志を持ち、PDCAのどの場面でも決めたことや決められたことを期限までに確実に成し遂げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	現状の把握・実態の的確な分析・問題点の抽出を基にして、「これなら取り組んでみよう」と思える課題を提案できる。					
	計画力	課題解決のために、手順・方法・スケジュールを明確にした実現可能な実施計画を立てることができる。					
	創造力	課題解決を目指して、従来の考え方や固定概念に捉われずに発想したり、コミュニケーションを図ったり、行動したりしている。その結果、課題解決につながっている。					
チームで働く力	発信力	自分の意見を相手にも分かるように整理した上で伝えたり、記述したりできる。					
	傾聴力	講義では、話の内容を整理して要点や疑問点などをメモしながら聞いている。グループディスカッションでは、相手の意見を整理して聴いて質問することで、さらに意見や伝えたいことを相手から引き出すことができる。					
	柔軟性	お互いの意見や考え方、提案に相違点があっても否定せずに、自分と相手の意見等を整理して目標を達成するために物事を進めることができる。					
	状況把握力	周囲の状況を的確に把握して、自分の役割を果たすことができる。					
	規律性	決められたことや決めたことを守って行動できる。					
	ストレスコントロール力	思っていたような成果が得られなくても、その原因を冷静に分析して適切に対処することができる。					
テキスト及び参考文献							
各科目のテキスト							
他科目との関連、資格との関連							
「専門実践実習(食育・食環境)」は、キャリア教育分野の科目として位置づけられており、専門基礎分野と専門分野の9分野や「基礎キャリア教育」で修得した知識や技術を活用する。また、同時期に開講される「栄養実習事前・事後演習」と関連させながら理解を深める。 資格との関連：管理栄養士、栄養士							
学修上の助言				受講生とのルール			
これまでに学修した知識や技術が必要である。それを踏まえて、対象者に応じたアセスメント・栄養計画・栄養教育・給食管理と展開する能力を必要とするので、関連科目の復習をして授業に臨むこと。				グループ活動となるが、怠慢して他のメンバーに任せきりにせず、積極的に活動すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
		レポート	50	①	✓			到達目標の①～⑤についてレポート（個人）で評価する。 【評価の観点】 ・学童期の食や栄養における課題を抽出できているか。 ・社会人基礎力の伸長を意識した実践、建学の精神の実践、pisa型学力の実践ができているか。 【pisa型学力の評価】 知識の獲得（到達目標①）：20% 知識の活用（到達目標①②③）：40% 課題解決（到達目標①②③④⑤）：40%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓			到達目標の①～⑤についてプレゼンテーション（グループ）で評価する。 【評価の観点】 ・学童期の食や栄養における課題を抽出できているか。 ・子どもと親のための公開講座において、児童の食の課題を解決できたか。 ・子どもと親のための公開講座を通して、児童の食の課題をどのように解決したか。 ・社会人基礎力の伸長を意識した実践、建学の精神の実践、pisa型学力の実践ができているか。 【pisa型学力の評価】 知識の獲得（到達目標①）：20% 知識の活用（到達目標①②③）：40% 課題解決（到達目標①②③④⑤）：40%
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
		社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			主体性：目標を達成するために、必要ことを自発的に探し出して積極的に取り組むことができているか。 働きかけ力：目標を達成するために、同じ意見の人だけでなく、意見や考えの合わない人の意見も取り入れてグループとしての意見を集約することができているか。 実行力：目標を達成しようという強い意志を持ち、PDCAのどの場面でも決めたことや決められたことを期限までに確実に成し遂げることができているか。 課題発見力：現状の把握・実態的的確な分析・問題点の抽出を基にして、「これなら取り組んでみよう」と思える課題を提案できているか。 計画力：課題解決のために、手順・方法・スケジュールを明確にした実現可能な実施計画を立てることができているか。 創造力：課題解決を目指して、従来の考え方や固定概念に捉われずに発想したり、コミュニケーションを図ったり、行動したりすることができているか。その結果、課題解決につながっているか。 発信力：自分の意見を相手にも分かるように整理した上で伝えたり、記述したりできているか。 傾聴力：講義では、話の内容を整理して要点や疑問点などをメモしながら聞いているか。グループディスカッションでは、相手の意見を整理して聴いて質問することで、さらに意見や伝えたいことを相手から引き出すことができているか。 柔軟性：お互いの意見や考え、提案に相違点があっても否定せずに、自分と相手の意見等を整理して目標を達成するために物事を進めることができているか。 状況把握力：周囲の状況を的確に把握して、自分の役割を果たすことができているか。 規律性：決められたことや決めたことを守って行動できているか。 ストイコトール力：思っていたような成果が得られなくても、その原因を冷静に分析して適切に対処することができているか。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
学修行動	総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達目標の①～④を課題と成果発表で確認し、その得点と社会人基礎力得点とで総合的に評価する。その得点が80～89点であればA（優）、90～100点であればS（秀）とする。	到達目標の①～④を課題と成果発表で確認し、その得点と社会人基礎力得点とで総合的に評価する。その得点が65～69点であればC（可）、70～79点であればB（良）とする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	オリエンテーション ・授業の到達目標、取り組み内容を理解し、過去の岡崎げんき館での取り組み内容を把握する。 ・学童期における食の課題を抽出する。 ・学童期における食の課題から講座のテーマを決める。	講義 グループワーク ディスカッション Google classroomからの課題提出 Google classroomからの質問受付・フィードバック	・授業の到達目標、取り組み内容を理解する。 ・学童期における食の課題を抽出できる。 ・学童期における食の課題から、講座のテーマを挙げることができる。	(予習) 学童期における食や栄養の特徴をまとめておく。 (復習) 学童期における食の課題を抽出しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
2	子どもと親のための公開講座の企画・計画① ・テーマに沿った食育活動内容を検討する。 ・社会人基礎力(事前)のセルフチェックをする。	グループワーク ディスカッション Google classroomからの課題提出 Google classroomからの質問受付・フィードバック	・テーマに沿った食育活動内容を提案することができる。 ・社会人基礎力の自己の強み弱みを把握する。	(予習) 講座のテーマを考えておく。 (復習) ディスカッションした内容を見直しておく	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
3	子どもと親のための公開講座の企画・計画② ・活動計画案の発表	プレゼンテーション グループワーク ディスカッション Google classroomからのプレゼンテーション資料の提出 Google classroomからの質問受付・フィードバック	活動計画案の課題を抽出することができる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 活動計画案を修正しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
4	子どもと親のための公開講座の企画・計画③ ・料理の試作 ・媒体作り	実習 グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	子どもと親のための公開講座に向けて準備を進めることができる。	(予習) 調理工程を確認しておく。料理の試作や媒体作りに必要な材料を調達しておく。 (復習) 試作した料理の振り返りをし、記録写真を整理しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
5	子どもと親のための公開講座の企画・計画④ ・料理の試作 ・媒体作り	実習(試作) グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	子どもと親のための公開講座に向けて準備を進めることができる。	(予習) 調理工程を確認しておく。料理の試作や媒体作りに必要な材料を調達しておく。 (復習) 試作した料理の振り返りをし、記録写真を整理しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
6	子どもと親のための公開講座の企画・計画⑤ ・料理の試作 ・媒体作り ・活動計画の発表に向けた準備	実習 グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	子どもと親のための公開講座に向けて準備を進めることができる。	(予習) 調理工程を確認しておく。料理の試作や媒体作りに必要な材料を調達しておく。 (復習) 試作した料理の振り返りをし、記録写真を整理しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
7	子どもと親のための公開講座の企画・計画⑥ ・料理の試作 ・媒体作り ・活動計画の発表に向けた準備	実習 グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	活動計画の発表に向けた準備を進めることができる。	(予習) 第4～7週までの記録などを整理しておく。 (復習) 活動計画の発表資料を作成しておく。。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
8	子どもと親のための公開講座の企画・計画⑦ ・活動計画の発表	プレゼンテーション グループワーク ディスカッション Google classroomからのプレゼンテーション資料の提出 Google classroomからの質問受付・フィードバック	活動計画の課題を抽出することができる。	(予習) 発表の準備をしておく。 (復習) 活動計画を修正しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	子どもと親のための公開講座の企画・計画⑧ ・予行練習のための準備	プレゼンテーション グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	予行練習に向けて準備を進めることができる。	(予習) 修正された活動計画に基づき、予行練習に必要な内容を整えておく。 (復習) 予行練習に向けて、自己の役割を把握しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
10・11	子どもと親のための公開講座の企画・計画⑨ ・班ごとに予行練習を行う。	実習 グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	調理工程、役割、タイムスケジュール、媒体などの改善点を抽出して具体的な改善案を提案できる。	(予習) 予行練習に向けて、自己の役割を把握しておく。 (復習) 予行練習の改善案をまとめ、計画を見直しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
12・13	子どもと親のための公開講座の運営	実践活動 Google classroomからの質問受付・フィードバック	自分の役割を果たすことができる。	(予習) 子どもと親のための公開講座の内容を確認しておく。 (復習) 活動の課題を抽出しておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
14	子どもと親のための公開講座の振り返り ・活動の振り返り ・発表の準備 ・社会人基礎力（事後）のセルフチェック	グループワーク ディスカッション Google classroomからの質問受付・フィードバック	活動の反省点や改善案について意見を出し合い、ディスカッションできる。	(予習) 活動の振り返りをし、課題を抽出しておく。 (復習) 班内でディスカッションした内容をまとめておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力
15	子どもと親のための公開講座の総括 ・活動の成果発表	プレゼンテーション Google classroomからのプレゼンテーション資料・レポートの提出 Google classroomからの質問受付・フィードバック	発表や他者の意見を聴いて自分の考えを発言できる。	(予習) 班ごとに発表資料を作成する。個人で活動レポートを作成する。 (復習) 発表に対する助言を今後に活かせるようにレポートにまとめておく。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力